

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町 3 7 5 番地

TEL (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai

慈雲



汝當繫念
諦觀彼國
淨業成者
我今為汝
廣說衆譬

汝（なんじ）當（まさ）に繫念（けねん）して、諦（あきら）かに彼（か）の国の淨業（じようごう）成じたまえる者（ひと）を觀ずべし。我いま汝が為に、廣くもろもろの譬（たとえ）を説かん。

【『觀經』の言葉】

お釈迦さまは韋提希夫人におつしやられました。「あなたは心をとどめてはつきりと極樂浄土におられる阿弥陀仏を「ごらんなさい。そのために私はあなたにいろいろな喩えを出しましよう。」

王舎城の悲劇によって悩み苦しむ韋提希夫人はここまでのお釈迦さまのお導きによって極樂世界の阿弥陀仏を一心に願ひ求めるようになった。その様子をご覧になって、お釈迦さまは韋提希夫人の心の变化をくみ取りこの機会を逃さないように夫人に言葉をかけ続けます。韋提希夫人はみずから願ひ求めたのですがまだその意味をはつきりと自覚していません。阿弥陀さまの呼び声があなたに届いたというところ。それを「お釈迦さまは夫人に伝えたいのです。」

○秋季彼岸会法要のご案内

来る九月二十三日（祝）は彼岸の中日に当たり、例年お寺で法要を勤めてご門徒の皆さまには多くのお参りをしていたのですが、今回もまた緊急事態宣言中であり、感染者数も増減を繰り返している状況ですので、YouTubeによるライブ配信としたいと思います。

配信日時

九月二十三日午後二時より

法要引き続き法話（住職）

※こちらのQRコードをスマホのカメラで読み込んで動画をご覧ください。



YouTubeライブ配信用QRコード

<https://youtu.be/IC0qIqmtNEk>

※当日は新型コロナ感染対策として総代世話方のみ参拝並びに配信作業をいたします。

※彼岸入りの九月二十日（月）から彼岸結願の二十六日（日）までは本

堂並びに納骨室を開放いたします。

時間は午前十時から午後四時までといたしますが、出勤前や退社後に参りたい方はご一報くだされば対応いたします。

○法事の勤め方（その二）

法事はご門徒のお宅で勤めるかまたはお寺に集まって勤めるかのどちらかです。最近では近くの葬儀会館やホールを借りて行う方もあります。今はコロナがまだ収まっていますので、いざれにしても少人数で執り行う方が多いです。法事の流れとしましては大まかに次の通りです。（自宅の場合）

- ①時間前に参加者が集まる。
- ②僧侶が来る。
- ③僧侶が着替える。（別の部屋の用意は必要ありません）
- ④その間、お内仏（仏壇）のろうそくに火をつける。線香を焚く。焼香の準備をする。（忘れがちです。香炉、抹茶・炭）
- ⑤読経（その間まわし焼香）法話
- ⑥施主から挨拶
- ⑦お斎（とき）。参加者で共に食事をし、故人をしのび日頃の感謝を共有する。（今はコロナ対策で中止が多い）

編集後記

○今回も2ページ建ての紙面でお届けします。

○今秋の彼岸会法要もオンライン配信となります。昨年三月の春彼岸会法要は中止でした。その年の秋から今回まで数えて三回目のオンライン配信となります。YouTubeでの配信は見られない、操作の仕方がわからないというご門徒もまだおられます。早くお寺に参りたい納骨室のご先祖様に参りたいという声も少なくありません。はやくいつも通りの法要を行いたい気持ちは住職はじめ役員一同は常に持っています。

しかし、オンライン配信で想定していなかった効果があることもわかってきました。例えばお寺やご門徒宅で法事などを勤めた際に首都圏などの遠方に住んでおられるご家族がオンラインで法要に参加されました。これまででしたら遠方から来られない方は欠席するしかありませんでした。ですから今後普段通りに法要が行えるようになってきたとしてもオンラインによる配信は並行して続けていきたいと思えます。

住職